

【第3回】タスクフォース活動報告

タスクフォース名：まちづくり推進タスクフォース

会議開催日時：令和3年4月28日（水）17時30分～18時55分

会 場：南魚沼市民病院 多目的ホール

参加者：外山副市長、病院部局（医師1人）、市長部局（4人）、事務局（2人）

ゲスト：損保ジャパン魚沼支社（2人）、上田ふるさと協議会（1人）

会議の内容

- 市民バス、交通の確保、包括支援センター実施事業、巡回診療、補助金活用などこれまでの取組みについて
- とりまとめ（素案）について

各委員からのご意見

- 上田地区は2つあった小学校と保育園が統合され、コミュニティが1つになった。地域が1つ、という思いを共有してもらいたい気持ちで活動している。上田農村環境改善センターを「拠点化」とする準備も進めている。
- 上田農村環境改善センターを停留所とする市民バスの路線変更については、関係機関と協議を進めている。
- 介護予防事業「まめでいきいき倶楽部（体操、脳活性化、口腔、栄養など）」を上田農村環境改善センターを会場として、6月から月1回開催する予定。合わせて交通手段の確保の検討も行い、地元の介護事業所からから、送迎車を空き時間に無償で提供してもらえることになった。協定書又は契約書の作成の準備をしている。
- 送迎車の運転については、上田ふるさと協議会によるボランティアで行う。
- 保険については損保ジャパンの「移動支援サービス専用自動車保険」を活用する。1台が1日稼働する場合の人身傷害、車両保険も含めた保険料となる。運転手も同乗者も車両も適用となる。導入は県内で初となる。
- 保健課でも、うつ自殺予防講演会兼ゲートキーパー研修、住職さんによる法話、健康相談会（健康診断の結果の見方、感染症予防、栄養相談など）を予定している。
- このような送迎が最終的にはオンデマンド交通として市街や病院に出かける人達が利用できるようになったらいい。第一歩として非常に良い取組み。
- 巡回診療について、病院事業管理者および市民病院長から内諾をいただき、タスクフォースとしても実施に向けて進めていくという方向でいいと思う。巡回診療のやり方、手順として次に何をしていけばいいのか、また地元診療所との競合などはおきないのか、など疑問点がある。

- 巡回診療の実際については、栃窪のケースだと、公民館を使い往診の帰りに月1回、40分から50分程度で行っている。今集まっている患者さんは4人程度。最大でも5人までしか考えていない。家族の送迎などは大変だけど、公民館までなら歩いてこれる人が対象。長崎方面から来ている自分の外来の患者さんを1人2人来てもらうように話をし、その人の近所の方を2~3人を対象とするスタートでよいのではないかと。そこにボランティア送迎が絡めればもっと良い。
- 手順としては第1段階は会場の確認、第2段階は診療所開設の届出を保健所へ提出、第3段階は患者を探す、1年くらいの計画になる。
- 巡回診療を始める時には地元診療所等へのあいさつはした方がいい。医師の気持ちの問題。栃窪で始める時も直近の診療所等には話をした。
- 診療する場所については、特別な準備はいらない。座布団とテーブル程度。暖房があるあまり広くない部屋が理想的。診療に必要な備品等は持っていく。
- 県補助金「地域運営組織の設立・活動支援事業補助金」について、県に確認したところ、今回の取組みはすべて対象になる。
- 県の補助金は活用すべきである。市の「医療のまちづくり活性化支援事業補助金」も活用できる。行政と地域が連携し、企業からの協力も得られることができる。良い形のまちづくりになってきているのではないかと。
- 県の補助金の別メニューとして、地域交通の確保について自動運転などの実証実験や導入可能性の調査などに対する補助金もある。
- 取りまとめ素案については、今日の会議の内容、市の補助金の活用、などを追加して修正し、タスクフォース長の確認により本部会議提出案としたい。
→タスクフォースメンバーからの反対意見なし（欠席委員にも確認済）。

今後の課題・対応

- 巡回診療について、診療場所の確認を行うよう調整する。
- 損保ジャパンの「移動支援サービス専用自動車保険」について、他事業への活用について整理する。
- 県の補助金活用に向けて申請を行い、市の補助金についても活用調整を進める。